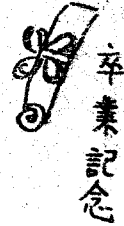
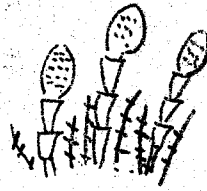


3月号

MARCH



卒業記念

# 備陽史探訪

NO.24

発行

備陽史探訪の会

事務局

〒720  
福山市西深津  
7-2-7  
神谷和孝

## 今月の内容

- 1~2 福山の建物30年史(種本実)
- 3~4 芋原へのお誘い、三月例会実施要項(佐藤洋)
- 5~8 とんど祭の変遷(種本実)
- 9~10 古墳研究部会報
- 11~12 山城あるきの楽しみ、朝山城跡調査中(田口義之)
- 13~14 新聞スラップ帖(吉田和隆)
- 15 1 原稿大募集(編集部)
- 16 行事案内、例会報告

福山の建物三十年史(一)

種本実

見おろした時、蔵王山から福山市街を  
 子箱のようなた、田畑山林よりもマッ  
 群の煙穴、近代なビル等々が私達  
 の視界に入り、近代的なビル等の間に  
 郷土は緑や川や海が、さういふ間に  
 ほとんど面積をめぐると、古い建物が  
 つつあり、ます、建物の中心にも古い物  
 建築中の物もあり、主にも古い物  
 建物を中心に、その歴史を追って福山  
 市の三十年の推移をみつめてみます

(昭和30年2月)  
 市長・藤井正男、  
 合・クワラシス

資料・広報くまま

公会堂増築成る 1200人12倍収容  
 ↓ 阿部伊勢守正弘の銅像を城跡公園に建立した礼に、阿部家から市へ3万円寄附がありそれをもち大正14年、現NHKの場所に建つに40年10月にこりこわす。(40年の歴史)

(30.11) 駅前大通に平和の女神像  
 鳩を放つ女神 (現在は他へ)

(31.11) 護国神社改築

(32.5) 洗谷橋の完成 | 三組の夫婦渡り初の式

(33.9) 鞆伏見能舞台修理 (重文)

(33.11) 深津に農業試験場  
 三川ダム竣工まぎわ(高40m長146m)

(33.12) ラジオ中国福山中継所

(34.3) 五重塔修理始る 約200万円

(34.8) 新市庁舎完(5部27課) 約300万円

(35.3) 仙酔島の国民宿舍完 170万円

(37.1) 鞆の浦会館完 1階は鞆支所

(37.9) 大門病院完 | 22年深安郡大津野村国民健康保険直管診療所↓深安郡の合併により「福山国民健康保険大門病院」44年より「福山市民病院」52.8より現蔵王町へ移転

28年五重塔が国宝に↓全国で5番目に古い

明王院本堂が重文から国宝へ

(39.7) 「福山テレビ中継所」 市政48周年記念

(39.10) 県立青年の家完 文部省建設の静岡県御殿場町富士のすきの国立中央青年の家カモデル

1985年3月16日

(3) 備陽史探訪

平原への誘い

佐藤洋一

今廻北郡と云う事で、福山市  
 の最北、如茂町字北山草原を紹介  
 いたします。旧村名は広瀬村と言  
 います。標高四百十二米の高原に位置  
 します。十四の部落が有りです。今回  
 はその内の一部落、草原を中心にした  
 事を行いました。  
 眼下に神辺平野（片の海）を見  
 下し、遠くには海を隔てて、四圍  
 連山を見る事が出来ます。  
 春には、日々変わる山の新緑に生  
 の力強さを散えられ、夏は木立か  
 ら来る涼しい風に我を忘れ、下界  
 とは、五層は違うでし。秋  
 は、又、木葉の落ちるに何かを思  
 冬は、自然の厳しさを散え、水  
 ます。又、ここから見下す夜景の美  
 しては、格別なものがあります。

これは又とほりです。夏の夜等に  
 一層涼みかたう見に来て下さい。  
 きぬい事はかり書きました。  
 か、く生活として行くには、大変  
 所でありまして、現実には過疎の村  
 のです。丁史的に見ますと、行政面  
 では常に遠地に有り、産業もこれ  
 いた、た特別の物もありません。史料  
 も少く、思う様には行きません。  
 したか、これは何か？と思つて、  
 ものもありました。草の事に地元の  
 人達が村誌を作ろうと努力され、お  
 りられました。色々話しをうかがい、  
 から、三月三十一日を目標に私達  
 何回か当地に足を運びました。  
 春の良いい日に空気を胸一つ、思い  
 っ、一日を葉しく散策する事が出  
 来る様になったります。  
 どうかが皆採れたの多敷御参加下さ  
 います様、よろしくお願い致します。

# 三月例会実施事項

一 目的 一 広瀬の歴史と民俗を探る

一 実施期 三月三十一日(日曜日)

雨天順延(四月七日)

一 集合地及時間 一 福山「朝鉄セブン」前

午前八時三十分

◎ 現地 一 広瀬小学校

午前九時四十分

一 見学地 一 龍田神社・大スギ

地藏堂・四宮神社

志川港山城跡

丹下女邸・等

一 行動予定 一 ◎八時半分福山発(井

原着) ↓ 九時三十分 井

原着 ↓ 広瀬小学校前

↓ 十三時 紫雲荘(昼食)

↓ 十三時発 ↓ 十四時

一 会費 一 ◎ 会員 五百円

◎ 非会員 八百円

一 申込 一 三月二十八日迄に

袖谷会長の方へ

電話 21-3940

\* パス代は別

尚、当日は約七キロ程歩きやすい靴にしてください。

歩きやすい服装にしてください。おおいと下さい。

\* 年寄持参の事

\* パスは井原バスの十六番乗場

八時四十分発。広瀬行にお乗り

下さいます。四角 (万能舎) は

九時七分です。

三十分 丹下女邸 ↓ 十五時

三十分 四川別 ↓ 十六時 十

一分 福山(中国バス)

とんど祭りの変遷

種本実

先号で加藤惣一氏より福山のとんどの由来等詳細な文章が載りました。私自身はとんど祭りについてあまり記憶がありませんが、古い新聞記事等を参考にしてみても、とんど祭りはどのようなものであつたか、何世今では見る事ができなくなつたか等について若干調べました。

とんど祭りは昭和九年四月の春祭りに皇太子殿下ご誕生(八年十二月二十三日)を祝つて繰り出したのを最後に姿を消していったが、二十四年四月三日に復活した。前年の八月に戦前の活気をとり戻す意気込みで、十三年に中止された。二上り復活したのに刺激された。二上りである。中国新聞51.6.26

当時の新聞によれば「朝日新聞24.4.5」福山のとんど祭開く

水野公の築城330年を記念して三日(八日間)にわたり商工、文化、体育祭と銘打って各種行事が行なわれた。二上り踊り、仮装行列など賑わつた。とある。同紙面には「皇太子さま、御来県中一日 四日午後四時、復興とんど祭りにぎわう福山市内に「一歩」この記事もある。

二十四年四月に復活したとんど祭はその後四十五年迄毎年行なわれた。三十四年には皇太子御成婚を祝福して例年より多彩な催しがあつた。例えば「日光博」：日光東照宮の模型化したものを中央公園に移し市民に公開。これはパリの万博にも展示したもので日本ではただ一つのものだ。た。東京大相撲：バラ公園仮設土俵に横綱榜錦、大関朝汐他二百名参加。ミス福山コンテスト：審査委員長は

(6) 備陽史探訪

1985年3月16日

徳永市長。賞金一万五千円。このほか盛大なとんど祭であった。前夜祭は市民会館にて、消防署楽田演奏、紅白芸能合戦、期間中は駅前広場、大通りにて、古式とんど、商店とんど、子供とんど、海上自衛隊音楽隊パレード、海洋少年団結成パレード、水野公遺品展、鞆の浦盆おどり、最終日には護国神社前でおどり、火祭等々。戦前のとんどはかつて練り回したものだ。たが戦後は山車(だし)といつて車が付いた台にとんどを置き、それを引き回すというもので、古式とんどは上に人が乗れるもの。で、当時の徳永市長が歌うとんど。音どがスピーカーから大きく流れ、中、若手の市職員が市長を振り、落とさんばかりに引き回したそう。

である。他に「おきとんど」といって、高さ八十メートルの「とんど」が駅前大通りに二十基程展示してあった。これは市が建築業者に作らせた。とんどである。商店街とんどは各町内会が、桃太郎などをモデルに商店街で作ったもの。市観光課でいた資料によると、最盛期には古式とんどをはじめ、商店とんど、基、その他農協の花車等々多数の山車で賑わった。集場所であった。現、銀前から船町交差点にかけては山車で埋まった。又市民層にもこの催しを積極的に支持する気運は高く、振舞酒を酒屋に引き取って、高い町内での打ち上げの経費に充てられた。35、37年頃、しかし40年頃になると急速なモータリゼーションの発達により、これ迄行事の中心広場であった国道2号線は使用不能とな

るばかりか、市内の各交差点は信号が設置され、市中の練り歩きは困難になつてきた。

又、福山市も産業経済面で飛躍的發展段階に入り、社会的人口増等、周囲の社会情勢も祭発展と相反する状況となつた。(540)とある。

45年には、古式とんど2基、商店街とんど3基、子供とんど24基が繰り出されたが、以後とんど祭は中止されたままである。

ところ、今年五月十九日にバウ祭の中の(下)レイドとして各商店街で作るとんどが復活するきうである。これは福山小売商業振興協議会が主催するもので、まだ詳しくは決つていないが、伝統ある福山の民族芸能だけに、十五年振りの復活を期待したい。

前述したように、とんど祭は二十四年に福山復興への息吹として

復活したが、この年福山は戦災都市に指定され、財源確保の為競馬場の設置が認められた。五十三年には三十億円の一般会計へ繰り入れる程の売り上げも、今年度は十億円の繰り入れを割りきうな売り上げ減であり、社会情勢の変化はここにも押し寄せている。

とんど饅頭といえ、福山を代表する菓子の一つであり、土産物として、も人気がある。パンプレットによれば、ようである。

今から三百年前、福山築城のとき、藩下の町で行った左義長のとき、藩主勝成公に献上した饅頭の美味を、いたたく賞揚され、これをとんどと名付けられ、藩の御用菓として愛用された。

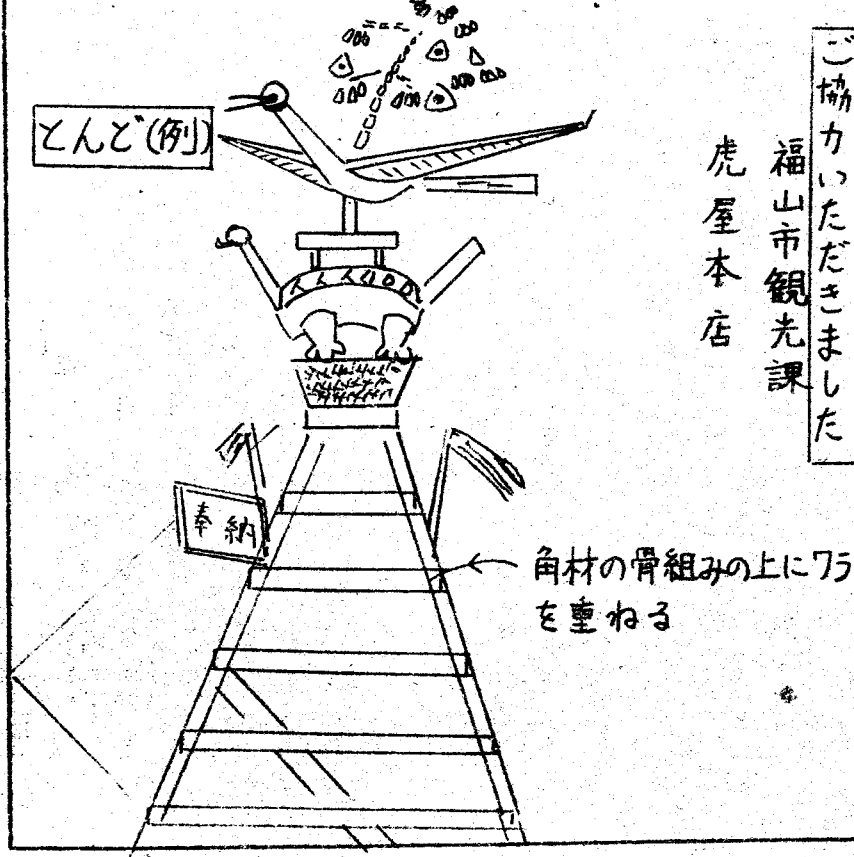
藩の御用菓として愛用された。この由来がある。うだ。従つて製造販売の虎屋さんの話だ。とんど祭の間は直徑

とんど祭はかつての城下町気  
 質を受け継いだ人々によつて十五  
 年前まで続けてきたが、当時の市  
 長徳永氏の祭り好きも負うところ  
 があつたようだ。現在の市の状態  
 は当時とはすべての面でも変りつ  
 あるので、五月に再び復活するこ  
 とが今後にも続く可能性は少い  
 する人々と共に願うものである。

三十センチ位の特大の饅頭を出し  
 て一息で食べたら景品を、とい  
 たことを宣伝を兼ねた催として行  
 ったこともあつたさうだ。伏見町  
 のように戦後できた商店街は前述  
 のように、桃太郎のようなも  
 のをとんどのモデルにしたが、古  
 くからの街は伝統ある飾りつけの  
 とんどが繰り出したさうだ。  
 (船町、宝船、魚屋町、鯛 やと)

参考資料

- ・ 広報福山
  - ・ 中国新聞(57.6.26)
  - ・ 朝日新聞(24.4.5)
- ご協力いただきました  
 福山市観光課  
 虎屋本店









山城ヤマシロ

あるきの楽しみ

田口義之

ある登山家が人に「あなたは何で山に登るのか」と問われたら「そこに山があるからだ」と答えたという。

私も山城を歩くのもこれと同じことだと言えないことはない。しかし、登山と違ってそこには人間のなまじしい歴史がある。

戦乱の時代、人々は我身、我妻、子、我領地を守るために山城を築いた。武士だけではなく農民達もである。だからそこには人々の願望が込められている。そうした所に私は引かれるのである。

山城を歩いてくると様々な出来事にめぐりあふ。真夏の暑い最中に山城に登り仲間の一人が「地バチ

しにさせられて大きわぎしたこともあ  
る。又、春の日に山城からの帰り道  
「つくし」の大群落を見つけて「お  
どろした」こともある。

何でもない事であるが、そのどれ  
どれが私の気遣いに印像深く残っている  
何故であろうか。

又山城の研究はもっぱらアマチュ  
アの活躍分野である。未開拓のテ  
マも多く、調査された山城は数少な  
い。こうした点も私にやる気を起さ  
せるのであろうか。

意味のない文章を書いてしまった  
気もするが、私は同好の士を求めて  
いるのである。山歩きの好きな人  
ら自分の研究テーマを求めている人  
ら山城は格好のテーマである。どう  
か引込思案にならずに私達と共に  
楽しみながら山城歩きをしようでは  
ないか。

（城郭研究部会長）

1985年3月16日

(12) 備陽史探訪

朝山城跡調査中

城郭研究部会

去2月10日(日)、本部会員5名は新祖隆太郎氏(三次地方史研究会)と共に朝山城跡(府中市又佐町)の第2回目実地調査を行なった。

前日迄雨天が続き当日の天候も危ぶまれたが、外に日がないという事で思い切って決行した。当日は朝方晴れ間も見える程で全員張り切って調査に取り掛ったが正午頃から天候が崩れ、一時頃から遂に豪雨、ずぶぬれになりながら下山した。こういうわけで調査は午前中のみとなったが主要部分の測量はほとんどおわり、あとは空堀部分を残すのみとなった。

今後は3月17日に城跡の残り部分の調査を行ない。4月は周辺の中世山城跡の踏査、5月以降は「地名」館跡等の調査を月1回のペースで行なう。希望者は遠慮なく申し出て欲しい。  
「連絡先」  
福山市多治米町916  
TEL 0849(53)6157  
田口義之



朝山城跡 見立寺安全

※部会に対する御意見、御要望は遠慮なく田口まで。皆さんの御近所に中世の山城跡がありましたらお知らせ下さい。

新聞スクラップ帖  
60年一月(朝日新聞)

五日 関ヶ原の合戦で使った家康の陣幕、前橋の寺でみつかる。全長十一メートルの完全な形で、徳川の家紋を辻々花染で染めてあつた。前橋市妙安寺。

十二日 陀羅尼経を大量発見。

法隆寺の蔵の二階にあつた。これは藤原仲麻呂の乱後、称徳天皇が百万塔の造立を発願し、陀羅尼経を納めて十大千に十万塔づつ安置した物の一部。

十三日 平安京の内裏発見。承明門

内側の遺構か？  
銅製の輪室(平安、鎌倉時代に建物を作る時、家や国家の安全息災を祈る行事に使う)も

発見。延久三年に承明門が再建された時の遺構と推定している。

十六日 飛鳥時代の円形大穴みつ

かる。非常時の穀物貯蔵庫か。場所は奈良明日香村松前遺跡。丘陵上の平地地に掘られ、周辺より瓦、埴立柱跡を発見。天武朝期の、軍事的、行政的施設の跡らしい。

十九日 秀吉の陣幕みつかる。紅地に

白く家紋を染めた。辻々花染。三分し、掛け軸にしてあつた。香川。赤門、元祖は和歌山城。

二十日 修理中の追廻門から塗り跡を

発見。東大の赤門より二百年前、家康の三女が輿入れした時のもの

二十四日 最古の製鉄炉跡。

滋賀古橋遺跡。(伊香郡木之庄町古橋)。六世紀後半の炭火を使うもの。

60年二月(朝日新聞)

一日 経費やわいりに金が要る。江戸詰め藩主、催促しきり。福山藩「佐原家文書(四)」の書状で明らか。

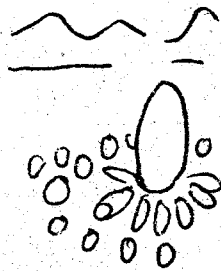
二十日 黄金仏、宇多天皇が寄進か。大峯山寺から発見の阿弥陀仏。は、文献の上から、宇多天皇と深い関係の物に推定される。(文化欄)

四日 江戸ー大正の砂鉄採り。削った土は、中海を埋める量に。たたら製鉄に使う、砂鉄を採取する為の鉄穴流しは、録を大破壊していた事が明らか。

二十三日 銀の七文字よみがえる。松江、岡田山古墳出土の鉄刀

を、奈良国立文化財研究所でさび落としした所。七文字がよみがえる。

二十五日 縄文人の墓有力に。秋田在。その環状列石、土壌から高等動物の脂肪酸検出される。場所は秋田県鹿角市十和田大湯の、大湯環状列石。



1985年3月16日

(15) 備陽史探訪

# 原稿大募集

編集部

当会の会報はただ会の情報だけでなく、会員の皆様からの話題、論文、会に対する提言等々を掲載し、より親める内容をめざしてまいりますので、御協力よろしくお願ひします。毎月特集を計画してまいります。巻末の投稿先迄あなたの原稿を届けて下さい。

## 五月号の特集

ありし日の福山と題し、江戸・明治・大正・昭和各時代の福山の古文書、語り伝え、体験等々で得た秘話を募集します。子供の頃に聞いたあんな話、災害の思い出、乗物の昔話、思い出話と当時の福山のようすなど、一桁20字で600又1300字程度で読み易い字でお願ひします。希望される方には印刷用原稿用紙を送付します。御連絡下さい。

会報 七月号のお知らせ

## 原稿募集

会報七月号は「食べ物の歴史」と題して、日本の食文化をさまざまな面から追究する文集を作る予定であります。

内容はいろいろ。

- ・ 原始時代の食事 - 縄文・弥生時代 -
- ・ 古代の食事 - 蕃族と庶民 -
- ・ 中世の食事 - 寺請大名や僧 -
- ・ 近世の食事 - 都市生活者と農民 -
- ・ 近代の食事 - 洋食との出会い -
- ・ 日本の肉食
- ・ 五穀について

等々を企画してまいります。

右のような内容、あるいは食べ物に関する原稿など何でも結構です。会報編集部宛お送り下さい。

七月号請負人 吉田和隆

次回の行事案内

例会

三月三十一日 福山市加茂町芋原へ。詳細は芋原への誘いと、三  
月例会実施要領を読んで下さい。  
五月五日 親子の古墳巡り  
小雨決行 詳細は不明ですが、神  
辺町、加茂町の辺りを視る模様で  
す。

古墳部会

四月十日 福山城裏の青年の家  
にて、備南の古墳についての勉強  
会をPM七時〜PM九時まで  
五月八日 同所 同題で、同時  
間する予定です。

歴史講演会

四月十四日(日) 市民会館 No.4 会キ室  
講師 神谷会長  
演題 「風四郎堂」について 14時〜

拳式

◎栗田英夫・森谷恭子 3/24 ホテルイン 19時

二月例会報告

去る二月は蔵王山周辺の史跡を巡  
りました。参加者は五十四名、資料  
は五十部と足りなくなるハブニング  
も有りましたが、晴天の中を数多く  
の講師が、夕種夕様の話題を話し、  
充実なる一日が過ぎ去っていった。

編集後記

ニヶ月ぶりの会報であるが内容は  
貧弱で恐縮であります。次回より福山  
城下の昔、食物の歴史、伝説伝承、  
宴会と特集が続きます。各特集の投  
稿、Q&A、御意見等、どしどし  
お寄せ下さい。

会報は会員の投稿で制作される  
す。

投稿は各編集委員又は左記へ。  
編集委員長 榎本実川 町口町 398 の13  
〒720 TEL 54-2047